※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅰ	2	指定なし	VISTA Logic and Expression Ⅰ

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

論理・表現Ⅰでは、日常的な話題から社会的な話題まで、英語を通して幅広く学びます。英語コミュニケーションⅠとは異なり、「聞く」「読む」「やりとり」「発表」「書く」の５つの力の中でも、会話や発表、聞いたり読んだりしたことに対して自分の意見等を書くなどの実技を通して、論理的に表現することを重点的に学びます。

※この授業では基礎学習はあまり行いませんので、「英語コミュニケーションⅠ」を先に履修することを推奨します。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【全学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	● 日常的なあいさつや簡単な指示を理解することができる。 ● 日常的に必要なことがらについて、内容を聞き取ることができる。 ● ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身のことや社会的な話題に関する短い会話や説明などを聞き、挿絵や写真などを参考にしながら理解することができる。	● 日常生活や社会的な話題で使われる英語の中の語句や簡単な文章を理解することができる。 ● 基本的な語句や表現で書かれた短い会話文を読み、挿絵や写真などを参考にしながら内容を理解することができる。	● 相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて聞き返したり意味を確認したりすることができる。 ● 相手の話す内容を理解できている場合に、相槌をうちやり取りを円滑にすることができる。 ● 日常的なあいさつができ、自分のことや身の回りで起こったこと、経験したことなどについてやり取りをすることができる。	● 前もって準備した上で、日常的な事柄や社会的な話題について基本的な語や表現を使って、複数の文で描写することができる	● 簡単な語や基本的な表現を用いて、自分のことや身の回りで起こったこと、経験したことなどについて複数の文を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	● be 動詞、一般動詞、過去形、進行形、助動詞、現在完了を用いた文の形、意味、用法を理解している。 ● 上記の文法事項について、相手に伝える技能を身につけている	● 自己紹介をするにあたり、自分の情報を整理して、相手が理解しやすいように伝えている。 ● 学習する各テーマについて、自分の意見をまとめたり、相手の意見を聞いてそれに対する自分の考えを日本語や英語で考え伝えている。	● 効果的に相手に情報が伝わるように、様々な工夫をこらそうとしている。 ● 学習する各テーマの内容に沿ったライティング課題や発表・ペアワークに対し、主体的に外国語を用いて取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

実施時期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
中間考査範囲	Let’s Start 1~4 Lesson1 “Bouldering?　How nice” Lesson2 “Famous People” Lesson3 “Aquarium Adventure” Lesson4 “My Summer Plan”	聞く	a: 時制を示す表現（現在・過去・未来・進行形）の特徴やきまりに関する事項を理解している。 b: だれが何をするのかについて、必要な情報を聞き取っている。 c: だれが何をするのかについて、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読む	a: 時制や動作を表す語句などの意味や働きを理解している。 b: 日常的な話題（「自身の事」「歴史上の人物」「夏休みの予定」など）に関する英語で書かれた短い会話文を読んで、概要を捉えている。 c: 日常的な話題（「自身の事」「歴史上の人物」「夏休みの予定」など）に関する英語で書かれた短い会話文を読んで、概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話す （やりとり・発表）	a: 時制や動作を表す語句などの意味や働きを理解している。 b: 日常的な話題（「自身の事」「歴史上の人物」「夏休みの予定」など）について、基本的な語句や文を用いて話したり、やり取りを続けている。 c: 日常的な話題（「自身の事」「歴史上の人物」「夏休みの予定」など）について、基本的な語句や文を用いて主体的に話したり、やり取りを続けようとしている。	スピーキング テスト
		書く	a: 自身の事や歴史上の人物、夏休みの予定を紹介するために必要な書く技能を身に付けている。 b: 自身の事や歴史上の人物、夏休みの予定について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自身の事や歴史上の人物、夏休みの予定について簡単な語句や文を用いて、読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
期末考査範囲	Lesson5 “UFO Sightings” Lesson6 “Homestay” Lesson8 “Great Inventions” Lesson9 “Save the Earth”	聞く	a: 現在完了（経験と継続）や助動詞、感情を表す語句の意味や特徴、きまりに関する事項を理解している。 b: 日常的な話題（「経験したこと・継続していること」「身の回りのもの（発明品）」「社会的な話題（絶滅危惧種の動物を守るためにできる環境保護）」についての会話文を聞き、必要な情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題（「経験したこと・継続していること」「身の回りのもの（発明品）」「社会的な話題（絶滅危惧種の動物を守るためにできる環境保護）」についての会話文を聞き、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読む	a: 現在完了（経験と継続）や助動詞の意味や働きの理解を基に、会話文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 日常的な話題（「経験したこと・継続していること」「身の回りのもの（発明品）」「社会的な話題（絶滅危惧種の動物を守るためにできる環境保護）」についての会話文を読んで、概要を捉えている。 c: 日常的な話題（「経験したこと・継続していること」「身の回りのもの（発明品）」「社会的な話題（絶滅危惧種の動物を守るためにできる環境保護）」についての会話文を読んで、概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話す （発表）	a: 現在完了（経験と継続）や助動詞を用いた文に関する英語の特徴やきまり、また相槌を打つなどの表現を理解している。 b: 日常的な話題（「経験したこと・継続していること」「身の回りのもの（発明品）」「社会的な話題（絶滅危惧種の動物を守るためにできる環境保護）」について、自身の考えや理由などを簡単な語句や文を用いて話したり、やり取りを続けている。 c: 日常的な話題（「経験したこと・継続していること」「身の回りのもの（発明品）」「社会的な話題（絶滅危惧種の動物を守るためにできる環境保護）」について、自身の考えや理由などを簡単な語句や文を用いて主体的に話したり、やり取りを続けようとしている。	スピーキング テスト
		書く	a: 現在完了（経験と継続）や助動詞の特徴やきまり、意味を理解している。 b: 日常的な話題（「経験したこと・継続していること」「身の回りのもの（発明品）」「社会的な話題（絶滅危惧種の動物を守るためにできる環境保護）」について、自身の考えや理由などを簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。 c: 日常的な話題（「経験したこと・継続していること」「身の回りのもの（発明品）」「社会的な話題（絶滅危惧種の動物を守るためにできる環境保護）」について、自身の考えや理由などを簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度